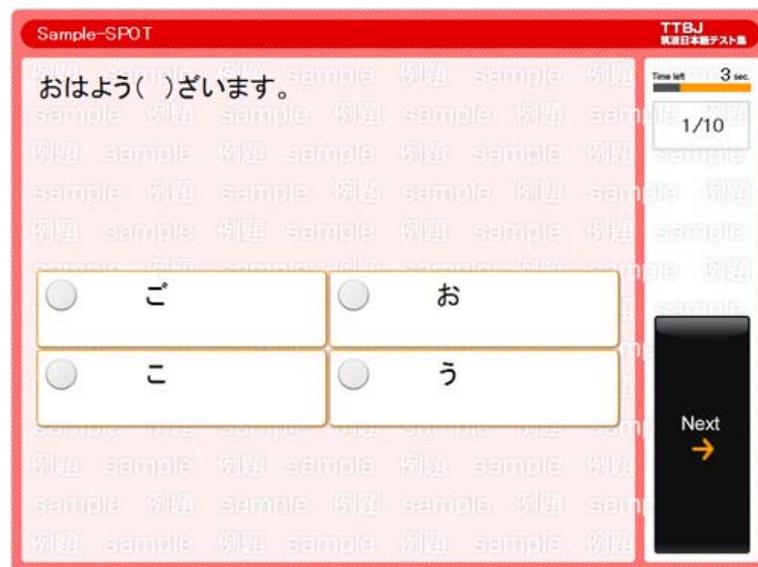


SPOT90

どんなテストか

自然なスピードで読み上げられる文を聞きながら、画面上の同じ文を読み、空欄に入れるひらがな一文字を選択するテストです。解答時間は1問につき3秒です。即時的に日本語をどの程度処理できるかを調べることで、運用力を間接的に測っています。少し聞きにくかったり、解答時間が短すぎると感じるかもしれませんが、実力があれば、問題なく聞き取れ、時間も十分あると感じるでしょう。



テストの構成要素

自然なスピードで読み上げられる音声情報と、それに対応する同じ文が画面上に同時に提示され、読み上げ終了後解答選択肢が提示されます。最も困難度の高い90-3は、音声を聞き取りにくいように加工しています。

実施時の注意事項

- テストを始める前に、音量のチェックをしてください。
- テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

1. SPOT が有用な場合と、SPOT では測定できないこと

SPOT は運用力まで含めた全体的なおおよその日本語能力を短時間に測定する道具です。

<SPOTが有用となる場合>	<SPOTでは測定できないこと>
<ul style="list-style-type: none"> ・運用力を含めた全体的な日本語能力を測る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細目的な知識（文法／語彙／漢字力）や技能別の能力の診断
<ul style="list-style-type: none"> ・能力差が比較的大きい集団を2～4段階程度の能力別グループに分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・アチーブメントテスト ・能力差の小さい集団での識別

2. SPOT(Simple Performance- Oriented Test)とは

SPOT は母語話者の自然な話速度の読み上げ文を聞きながら、解答用紙に書かれた各同文を読み、それぞれ1箇所のひらがな1文字分の空欄（文法項目部分）に穴埋めディクテーションするというテストです。各文は互いに関連なく、独立しており、通常は全部で60問程度を実施します。

自然な速度で話された文のひらがな1文字だけを部分的に切り出したものを聞き取ることは非常に難しいものです。しかし、単語、文というような塊の中にあると、その聞こえなかった部分がはっきり聞こえてきます。例えば、「つくえ」の「く」の部分だけ音を切り出して聞いても音を同定することは難しいですが、単語で聞けばそれが聞こえます。これは私達が「頭」で聞いているからに違いないのです。母語話者は日本語の音韻システムや語彙知識、構文知識などの知識に基づいて推測し、そのように音声を瞬時に同定しています。このような認知的側面を利用して考案したテストがSPOTです（小林・フォード1992、フォード他1995、小林他1996等）。SPOTの空欄部分は消音したり、ノイズなどで隠すことなく読み上げられるため、解答が音声で与えられているわけですが、日本語力が不足している場合には、これを聞き取って書き取ることができません。

3. テストの真正性

SPOTのテスト問題画面をみただけで、このテストは、真正性に欠ける（「authentic」ではない）と批判する人がいます。確かに、読解や聴解で求められるような談話の流れをつかみ正しく文脈を理解するというような能力を直接に測ることはできません。現実の社会で、このようにバラバラの脈絡のない文を続けて聞くという状況はありませんから、そういう点でこの批判は当たっています。

しかし、一方でSPOTは即時的に言語処理をしていくという認知的な面で、authenticであると考えられます。それも、音声処理と、文字処理を同時に、「ながら作業」ができないと得点できません。すなわちSPOTで得点できるということは、その問題の言語処理がある程度自動化している（無意識に使える状態）ということを意味します。ゆっくり頭の中で言語知識を統制しながらの読解や会話は、現実社会では通用しません。自動化の程度が得点に影響するSPOTはPerformanceを直接測定していませんが、間接的に測定していると考えられます。

文法 90

どんなテストか

文法項目の知識を測るテストです。文中の空欄に入る適切なことばを選択します。各文は互いに関係なく独立しており、文法-90には3つのセクション(初級～上級)全部で90問あります。レベルに応じて、難しい漢字にはルビがふってあります。

テストの制限時間は1つのセクション30問で10分、3セクションですと90問で30分です。自分のスピードに合わせて答えることができます。分からない問題は、→ (next) ボタンで進んで最後まで終わらせてください。

以下のような形式で、文法 90-1,90-2,90-3 それぞれ 30 問を 1 セットとして問題が提示されます。合計 90 問です。

Grammar90-1 SAMPLE TTBJ
基礎日本語テスト

A:(), この本を買いましたか。
B:きのうです。

1/1

<input type="radio"/> どこで	<input type="radio"/> いくら
<input type="radio"/> だれが	<input type="radio"/> いつ

Next
→

テストの構成要素

文法知識 形式と意味の結びつきを重視したテスト

実施時の注意事項

- テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。
- 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

音声文法 30

どんなテストか

自然なスピードで読み上げられる文を途中まで聞いて、それに続くことばを選択します。選択肢も音声で読み上げられます。選択肢は3肢から一つ選びます。

音声情報を聞きながら、続く文を予測するのは、文字で提示され自分のペースで考えて答える一般的な文法問題とは異なり、単なる文法知識があるだけでは答えられない場合があります。また、明瞭でない音であっても、文の中で意味を考えて聞きとり理解する力も求められます。文法を知識として理解はしているだけでなく、実際に会話や聴解などで使えるような運用力を推定する目的で作られています。文法項目としては、初級の問題から中上級の問題まで合わせて30問が出題されます。

以下のような形式で、30問出題されます。

例：二つ目の駅で電車を

- a: 降りてください。
- b: 乗ってください。
- c: 行って下さい。

テストの構成要素

自然なスピードで読み上げられる音声による文法の理解、続く言葉の予測能力

実施時の注意事項

- ヘッドフォンを使います。音声が聞こえるか、例題のときに確認してください。
- テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。

音声語彙

どんなテストか

自然なスピードで読み上げられる説明を聞いてそれが表すことばを選ぶ問題です。同定義のほか、義語、反義語などがあります。

選択肢は音声と文字の二種類あります。両方とも4つの選択肢から一つ選びます。

選択肢が音声で提示される問題 20 問

選択肢が文字で提示される問題 10 問

選択肢が音声で提示される場合は、音の聞き分けの能力を、また選択肢が文字の場合は、カタカナ語の表記、漢字の同音異義語の理解を判断する問題があります。



選択肢（音声）

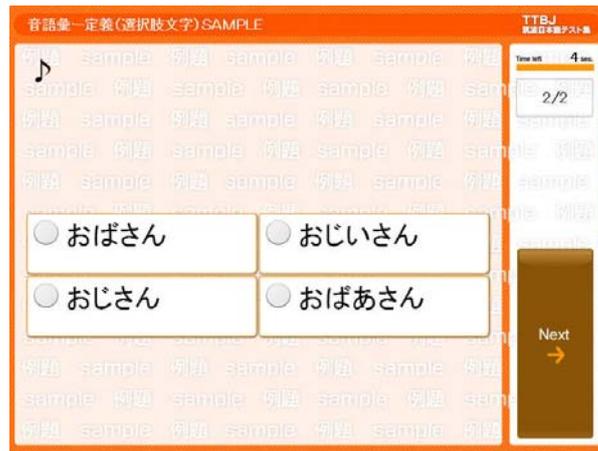
例：今日は3日です。きのうは何日でしたか。

A：2日

B：3日

C：4日

D：5日



選択肢（文字）

おとうさんのお兄さんです。

a : おばさん b : おじいさん c : おじさん d : おばあさん

テストの構成要素

自然なスピードで読み上げられる音声による文の理解、語彙能力

- 実施時の注意事項
- ヘッドフォンを使います。音声が聞こえるか、例題のときに確認してください。
 - テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。

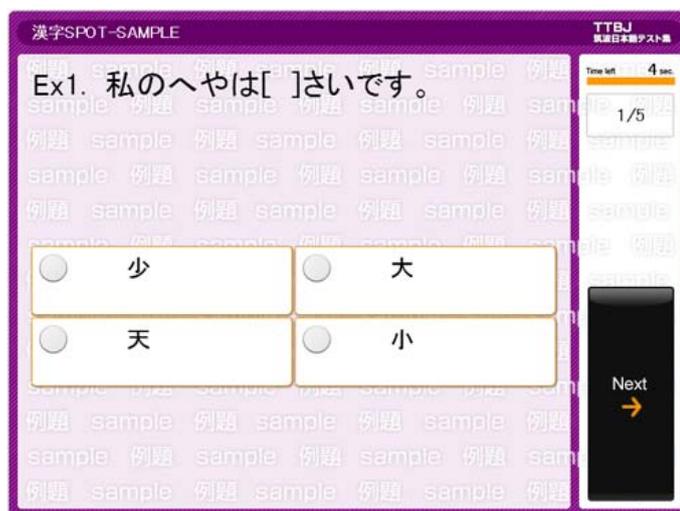
漢字 SPOT50

どんなテストか

漢字語彙の音声処理能力を測るテストです。自然なスピードで読み上げられる音声情報を聞きながら、文中の空欄に漢字一文字を選択します。聞き取り能力の高い学習者には、音声情報が正しい漢字を選ぶヒントとなり得ますが、聞き取り能力の低い学習者には、短時間で音声情報と文字情報の両方を処理することが難しいことから、このテストは、実際に使える漢字語彙の運用力を推定する目的で作られています。

以下のような形式で、初級の問題 20 問と中上級の問題 30 問、合わせて 50 問が出題されます。

テスト結果は以下のように表示されます。



テストの構成要素

自然なスピードで読み上げられる音声情報と、それに対応する文の文字情報が同時に提示されます。

実施時の注意事項

- ・ テストを始める前に、音量のチェックをしてください。
- ・ テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- ・ テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- ・ 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

漢字読み 30

どんなテストか

漢字語彙を読む力を測るテストです。4肢選択問題になっています。

以下のような形式で、初級の問題から中上級の問題まで合わせて30問が出題されます。

テストの構成要素

文中の漢字語彙について、ひらがなで提示された正しい読みを選びます。

実施時の注意事項

- ・ テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- ・ テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- ・ 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

漢字書き 30

どんなテストか

漢字語彙を使って書く力を測るテストです。4肢選択問題になっています。訓読み語の場合は、送り仮名まで含めて、正しい表記が選べるかどうかを測ります。

テストの構成要素

文中の語彙がひらがなで提示されており、漢字を使った正しい表記を選びます。

実施時の注意事項

- ・ テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- ・ テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- ・ 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

漢字語彙 30

どんなテストか

漢字語彙の運用力を測るテストです。文中の空欄に使うことのできる漢字語を4つの選択肢の中から選びます。初級の問題から中上級の問題まで合わせて30問が出題されます。

テストの構成要素

問題文と空欄に入る漢字語の選択肢が提示されます。

実施時の注意事項

- ・ テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- ・ テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- ・ 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

漢字力診断テスト初級

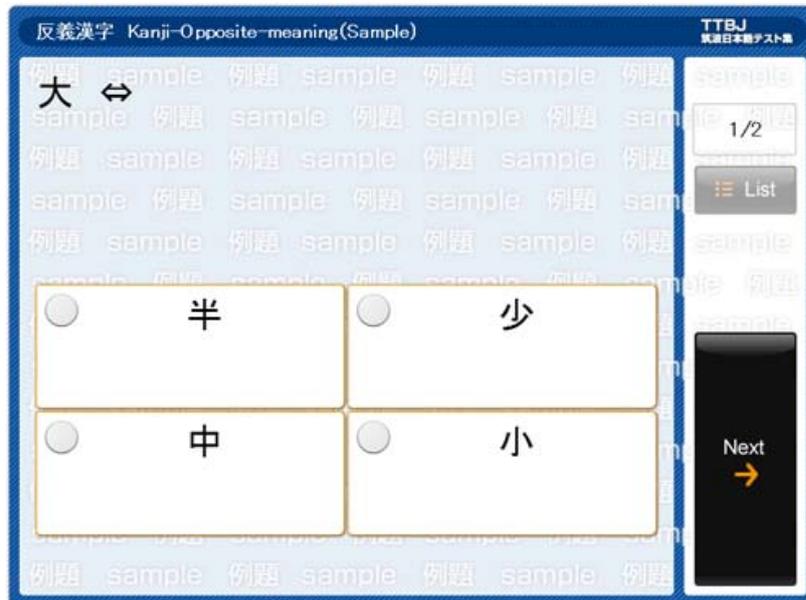
どんなテストか

初級の漢字について、形・読み・意味・用法の何ができているかを分析的に測るテストです。テストは以下のような12のセクションからなっています。

1. 反対の意味の漢字を選ぶ問題
2. 文中の〔漢字語〕の読みを選ぶ問題
3. 同じ音読みの漢字を選ぶ問題
4. 文中の〔ことば〕に対応する表記を選ぶ問題
5. 漢字の構成要素を選ぶ問題
6. 送り仮名に対応する漢字を選ぶ問題
7. 漢字語の品詞によって適切な形を選ぶ問題
8. 文脈（文法的共起性）によって適切な漢字語を選ぶ問題
9. 文脈（意味的な連語知識）によって適切な漢字語を選ぶ問題
10. 音声で聞いた3つの漢字語に共通する漢字語を選ぶ問題
11. 音声で与えられた意味の漢字語を選ぶ問題
12. 漢字の構造パターンを選ぶ問題

各セクションには問題が10問ずつあり、全部で120問が出題されます。どれも4つの選択肢から選ぶ問題です。答えるための時間は、各セクション5分以内です。速く答えれば、速く終わることができますし、ゆっくり答えても、60分以内にはテストが終わります。このテストは、受験者の漢字および漢字語に関する知識や運用力を総合的に診断して、結果をフィードバックしてくれます。どのくらいたくさん漢字を知っているか、読めるか、書けるかということだけを測るのではありませんから、まだ習っていない漢字が出てきても、知っている知識などを使って答えるように指示してください。テストが終わると、セクションごとの結果がグラフで表示され、受験者の弱い所を示してくれますので、今後の漢字学習の指針として役に立つ情報が提供されると思われます。

以下は、①の反対の意味の漢字を選ぶセクションの問題です。



ほかにも、いろいろなセクションの問題があり、音声を使うセクションもありますが、いずれもテストの前に答え方の練習をするための例題がありますので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。

テストの構成要素

文字だけの問題と、音声と文字が同時に提示される問題があります。

実施時の注意事項

- ・ テストを始める前に、音量のチェックをしてください。
- ・ テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- ・ テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- ・ 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

漢字力診断テスト中級

どんなテストか

中級の漢字について、形・読み・意味・用法の何ができているかを分析的に測るテストです。テストは以下のような 12 のセクションからなっています。

1. 反対の意味の漢字を選ぶ問題
2. 漢字語を意味の単位に着る問題
3. 文中の〔漢字語〕の読みを選ぶ問題
4. 同じ音読みの漢字を選ぶ問題
5. 文中の〔ことば〕に対応する表記を選ぶ問題
6. 漢字の部首を選ぶ問題
7. 送り仮名に対応する漢字を選ぶ問題
8. 漢字語の品詞によって適切な形を選ぶ問題
9. 文脈（文法的共起性や意味的な連語知識）によって適切な漢字語を選ぶ問題
10. 音声で聞いた 3 つの漢字語に共通する漢字を選ぶ問題
11. 音声で与えられた意味の漢字語を選ぶ問題
12. 漢字の意味、品詞、読み、字形などから、同じ仲間の漢字を選ぶ問題

各セクションには問題が 10 問ずつあり、全部で 120 問が出題されます。どれも 4 つの選択肢から選ぶ問題です。答えるための時間は、各セクション 4 分以内です。速く答えれば、速く終わることができ、ゆっくり答えても、48 分以内にはテストが終わります。このテストは、受験者の漢字および漢字語に関する知識や運用力を総合的に診断して、結果をフィードバックしてくれます。どのくらいたくさん漢字を知っているか、読めるか、書けるかということだけを測るのではありませんから、まだ習っていない漢字が出てきても、知っている知識などを使って答えるように指示してください。テストが終わると、セクションごとの結果がグラフで表示され、受験者の弱い所を示してくれますので、今後の漢字学習の指針として役に立つ情報が提供されると思われます。

漢字力診断テストの結果は、各セクションの最後のページで○と×で結果を表示します。間違った問題も正解した問題も、もう一度見たい場合は、番号をクリックすれば、見ることができます。問題の確認が終わって、次のセクションに移動する場合は、Close ボタンをクリックします。

テストの構成要素

文字だけの問題と、音声と文字が同時に提示される問題があります。

実施時の注意事項

- ・ テストを始める前に、音量のチェックをしてください。
- ・ テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
- ・ テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。テストが始まったら、前にもどることはできませんので、例題を十分に練習してからテストを始めるように、受験者に指示してください。
- ・ 画面上の指示にしたがってテストを始め、問題に解答して、終わってください。

共通（これまでに受けた質問などから）

1. 画面上の指示にしたがって start ボタンを押してテストを始めてください。
2. テストの前に答え方の練習をするための例題があり、これは何度でも練習できます。
3. テストを始めたら、決してブラウザのバックボタンをクリックしないように注意してください。不正終了してしまいます。
4. 時間内であれば、何度でも答えを選び直すことができます。
5. next を押す前に選んでいた答え、または time-over になった時点で選んでいた答えが、阿多なの答えとして格納されます。
6. 分からない問題は、→(next)ボタンで進んでください。
7. 最後の問題が終わると結果が自動的に表示されます。
8. 次の問題セットに行く場合は、next を選んでください。